

1 被災した有機農家支援のため、熊本地震の義援金を集めています！

このたびの熊本大地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

すでにみなさまの間で、さまざまな形でお見舞い・支援をなされているかと存じます。日本有機農業研究会としては、現在、熊本県有機農業研究会（間澄子事務局長）及び間司さん（日本有機農業研究会幹事）と連絡をとり、南阿蘇も含め関係者の被災状況の把握に努めています。

案じられた益城町にある「熊本いのちと土を考える会」は、事務所損壊は免れ（隣家は崩落）、ようやく農産物等の配送事業を再開しました。上益城郡にある「くまもと有機の会」も配送を再開しています。

被災した有機農家では、住家が壊れた新規就農者、牛舎が潰れて牛2頭も亡くした方などがおり、これから熊本県有機農業研究会の調査が進むとかなりの被害が明らかになるとみられます。

そこで、日本有機農業研究会として、主に有機農家の被災者支援のために熊本地震義援金を集めることにしました。原則として熊本県有機農業研究会に託すことにいたします。各位のご協力をよろしくおねがいたします。

2016年4月25日

日本有機農業研究会理事会

送付先 振込先 ゆうちょ銀行 00180-0-165363

加入者名 特定非営利活動法人日本有機農業研究会

※ 通信欄に、「熊本地震義援金」と明記してください。

問合せ先 日本有機農業研究会事務局 電話 03-3818-3078

2 **特別アピール**川内原発、ただちに停止を！ を九電、内閣総理大臣へ申し入れ

日本有機農業研究会理事会は、次の特別アピールを公表、関係者に送付しました。

特別アピール川内原発、ただちに停止を！

4月14日に発生した熊本地震は、今も大小の地震発生が続いています。多数の被災者が避難生活を強いられるなか、不安に追い打ちをかけているのは、国内で唯一再稼働中の鹿児島県にある川内原子力発電所せんだいです。川内原発については、再稼働判

断の手續の在り方、地域防災計画への国の関与と実効性の確保、巨大噴火のリスク評価などが議論になってきたところです。大地震も火山噴火も現在の知見では予測できません。熊本県・大分県で地震発生が続いている今、鹿児島県で稼働中の川内原発1号炉・2号炉をただちに停止することを求めます。

2016年4月25日

日本有機農業研究会理事会